

10年先、20年先を見据えて特色ある経営を展開

創業50年、「フリーホテル」ビジネスで 新時代に羽ばたく株仲友代表取締役・鷲尾明子氏に聞く

今年のゴールデンウィークは、国内旅行が人気を集めた。円安の進行や新型インフルエンザウィルスの感染拡大等で、特にアジアエリアが敬遠された影響が大きかったようだ。一方で、東北地方のホテルや旅館などの利用客が震災前の水準に大きく近づいたという。

株仲友グループは、神奈川県平塚市を拠点に飲食業からスタート。現在、7店舗の旅館とホテル、他に貸別荘を展開。好不調の波があると言われる業界に在りて、この連休中も例年通り極めて高い稼働率を維持した。

昨年、創立50周年を迎えた同グループは、宿泊業に加え葬祭業、中国・広州に海外支社を置き貿易業を展開するなど多彩な事業展開で躍進中。そこで今回、グループ11社を率いる代表の鷲尾明子氏に、堅調な業績の背景や経営の秘訣などをルポライターの高橋豊氏が聞いた。

——最初は飲食業でスタートしたそうですね。

鷲尾氏 はい。平塚市で昭和45（一九七〇）年、イタリアレストランを始めました。当時、平塚や厚木の周辺には大手一流手企業の大工場が沢山あり商機と感じたのです。

——なぜ洋食だったのですか。

鷲尾氏 各社のトップの多くがアメリカ人だったからです。『インヨリカ？』の店名で出店した一号店が成功し、8店舗に拡大しました。午前3時までの営業なので、クラブやバーなどのママやホステスが深夜の11時過ぎて続々とうちの店にやってきました。さらには、各社の部長課長クラスが熱心に足を運んでくれるようになって（笑）。当時、ある有名なクラブの美人ママが常連客のアメリカ人社長と結婚して話題になったこともありました。

——8店舗の経営は大変だったんですね。

鷲尾氏 お客様に満足して帰ってもらうようなサービス、顧客になってもうらなめには、何が一番大切なかなど、必ず店に出て、経営者としての優先順位をいつも考えていました。

——現場でないと見えないことも多いということですね。

鷲尾氏 ええ。とくに料理は、

——最初は飲食業でスタートしたそうですね。

鷲尾氏 はい。平塚市で昭和45（一九七〇）年、イタリアレストランを始めました。当時、平塚や厚木の周辺には大手一流手企業の大工場が沢山あり商機と感じたのです。

——なぜ洋食だったのですか。

鷲尾氏 各社のトップの多くがアメリカ人だったからです。『インヨリカ？』の店名で出店した一号店が成功し、8店舗に拡大しました。午前3時までの営業なので、クラブやバーなどのママやホステスが深夜の11時過ぎて続々とうちの店にやってきました。さらには、各社の部長課長クラスが熱心に足を運んでくれるようになって（笑）。当時、ある有名なクラブの美人ママが常連客のアメリカ人社長と結婚して話題になったこともありました。

——現場でないと見えないことも多いということですね。

鷲尾氏 ええ。とくに料理は、



株仲友代表取締役社長。昭和37年、同社設立、代表取締役就任。飲食業時代から現在に至るまで、お客様に喜んでいただくことを最優先に事業を展開してきたという。



株仲友グループを代表するホテルの一つ、『ホテルパティオ 仙台』。新鮮な地元の素材を活かした料理は、ビジネスマンから観光客まで高い人気を誇る。

——最初は飲食業でスタートしたそうですね。

鷲尾氏 はい。平塚市で昭和45（一九七〇）年、イタリアレストランを始めました。当時、平塚や厚木の周辺には大手一流手企業の大工場が沢山あり商機と感じたのです。

——なぜ洋食だったのですか。

鷲尾氏 各社のトップの多くがアメリカ人だったからです。『インヨリカ？』の店名で出店した一号店が成功し、8店舗に拡大しました。午前3時までの営業なので、クラブやバーなどのママやホステスが深夜の11時過ぎて続々とうちの店にやってきました。さらには、各社の部長課長クラスが熱心に足を運んでくれるようになって（笑）。当時、ある有名なクラブの美人ママが常連客のアメリカ人社長と結婚して話題になったこともありました。

——現場でないと見えないことも多いということですね。

鷲尾氏 ええ。とくに料理は、

——最初は飲食業でスタートしたそうですね。

鷲尾氏 はい。平塚市で昭和45（一九七〇）年、イタリアレストランを始めました。当時、平塚や厚木の周辺には大手一流手企業の大工場が沢山あり商機と感じたのです。

——なぜ洋食だったのですか。

鷲尾氏 各社のトップの多くがアメリカ人だったからです。『インヨリカ？』の店名で出店した一号店が成功し、8店舗に拡大しました。午前3時までの営業なので、クラブやバーなどのママやホステスが深夜の11時過ぎて続々とうちの店にやってきました。さらには、各社の部長課長クラスが熱心に足を運んでくれるようになって（笑）。当時、ある有名なクラブの美人ママが常連客のアメリカ人社長と結婚して話題になったこともありました。

——現場でないと見えないことも多いということですね。

鷲尾氏 ええ。とくに料理は、

——最初は飲食業でスタートしたそうですね。

鷲尾氏 はい。平塚市で昭和45（一九七〇）年、イタリアレストランを始めました。当時、平塚や厚木の周辺には大手一流手企業の大工場が沢山あり商機と感じたのです。

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る

——社員教育に力最后是社長自身が責任を取る